

川 越 市

令和5年度決算のポイント



令和6年8月



川越市シンボルマーク

1 決算の規模

【歳入】

一般会計

1,322億1,190万8千円
(対前年度比 19億530万8千円増)

【歳出】

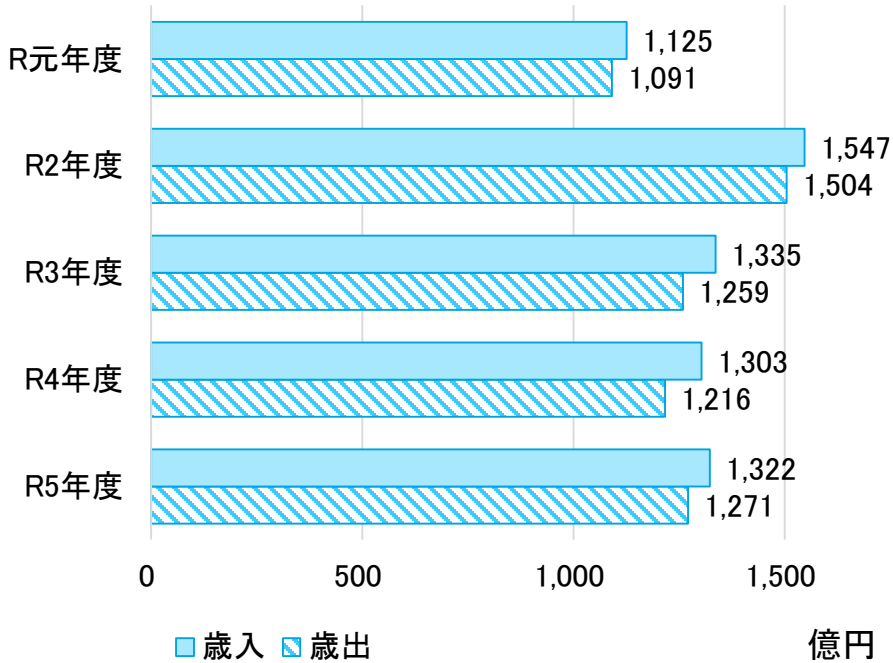
一般会計

1,270億9,665万円
(対前年度比 54億6,535万2千円増)

※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 対前年度比で歳入は約19億円、歳出では約55億円増加しました。
- 歳入は、市税や国庫支出金は減であったものの、市債や繰越金の増等により、歳入全体として対前年度比で1.5%増加しました。
- 歳出は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰関連の給付金給付事業に係る経費の増等により、歳出全体として対前年度比で4.5%増加しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)



2 決算の収支

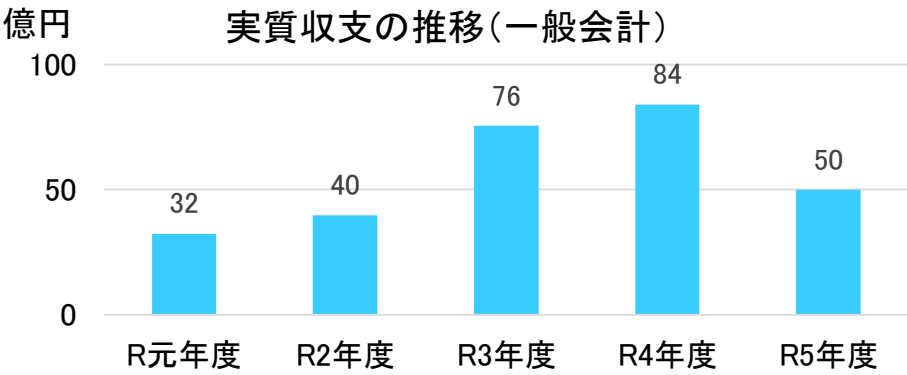
一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
R 4	130,306,600	121,631,298	8,675,302	273,357	8,401,945
R 5	132,211,908	127,096,650	5,115,257	121,991	4,993,266
比較	1,905,308	5,465,352	△3,560,044	△151,366	△3,408,679

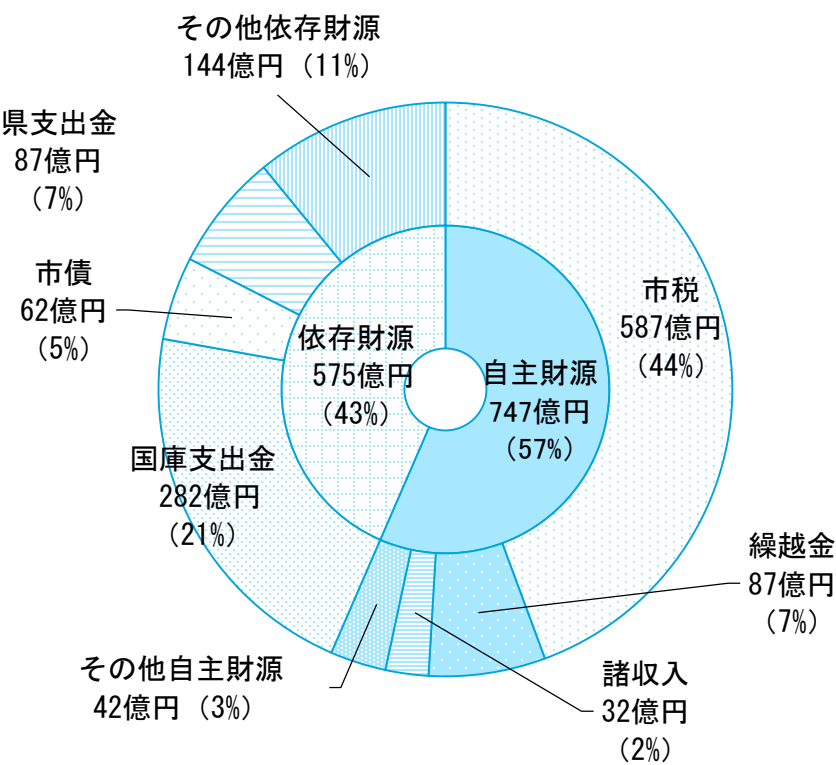
※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、49億9,326万6千円となりました。
- 令和4年度と比較すると、実質収支は34億867万9千円の減少です。



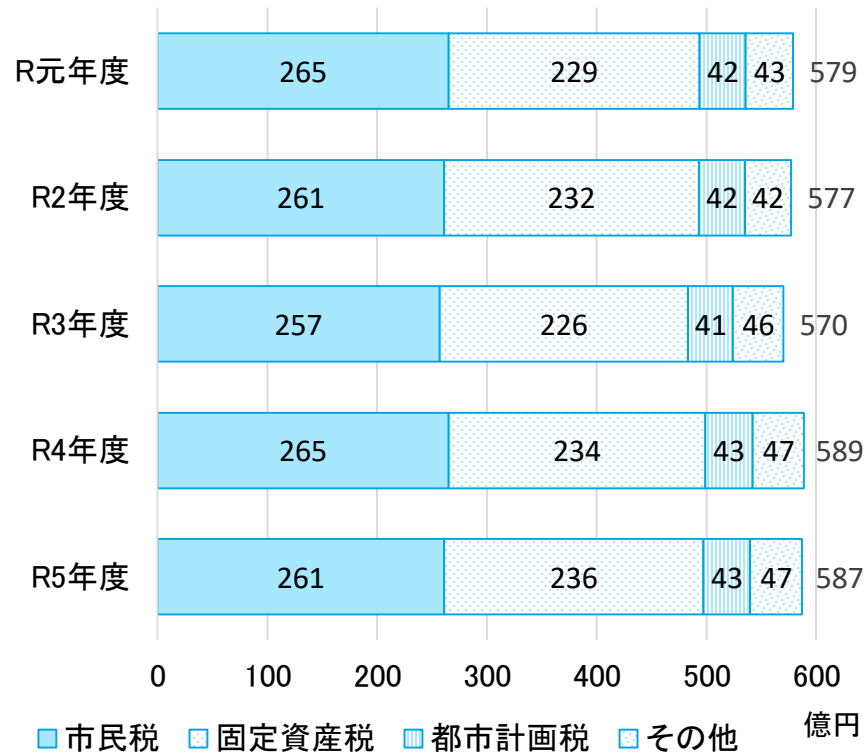
3 一般会計歳入の内訳

歳入



- ※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。
- 繰越金の増や国庫支出金の減などがあったものの、自主財源の比率は前年度と同じ57%でした。

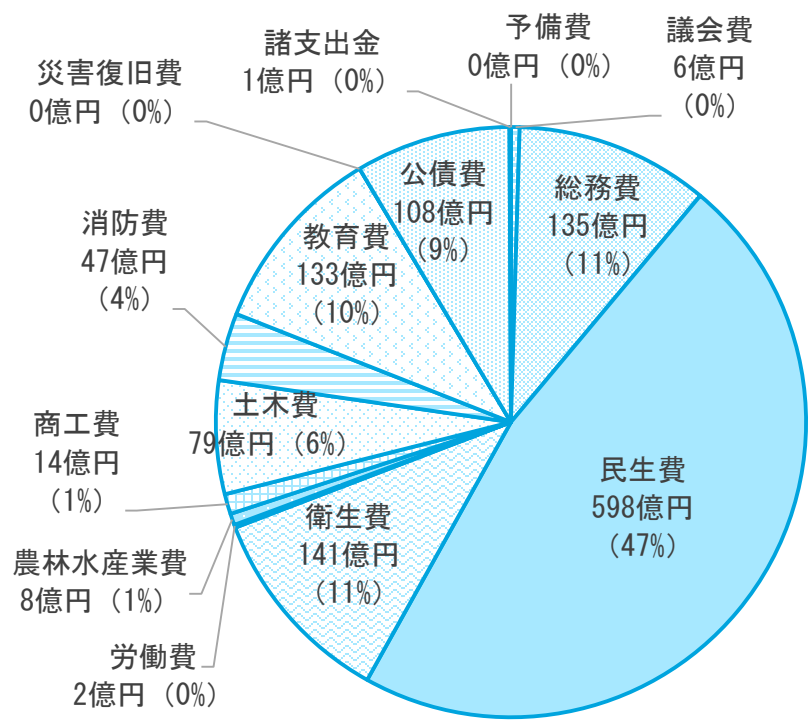
市税収入の推移



- 固定資産税の増はあったものの、市民税の減などにより、市税収入全体では、対前年度比で約2億円の減となりました。

4 一般会計歳出の内訳

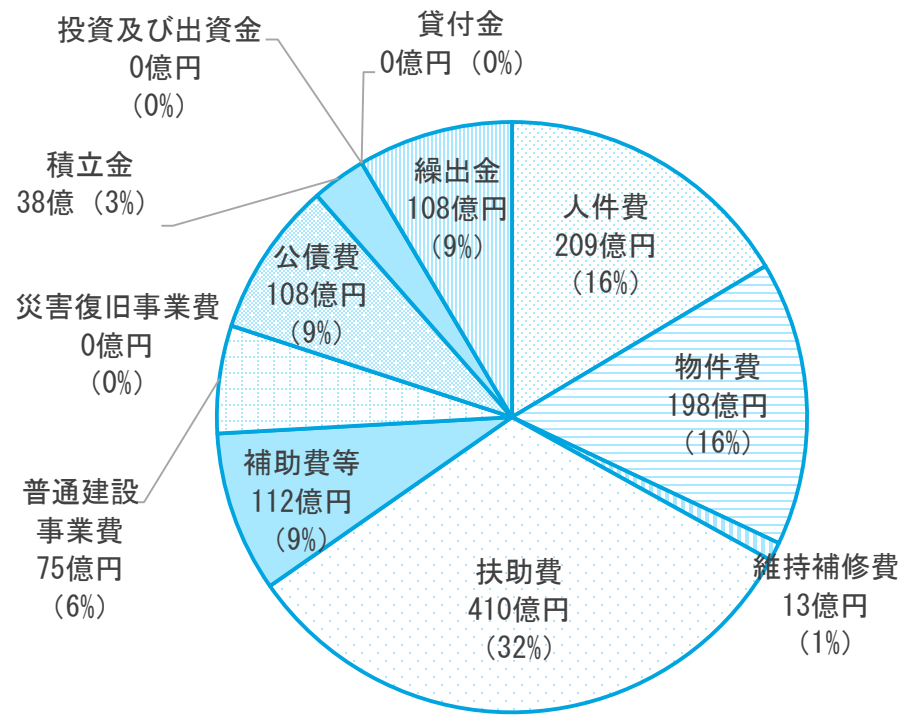
歳 出（目的別）



※ 計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合があるほか、5千万円未満の場合は0億円と表しています。

- 民生費は、全体の4割以上を占めています。対前年度比では、約32億円の増となりました。
- 総務費は、対前年度比で約14億円の増となりました。

歳 出（性質別）

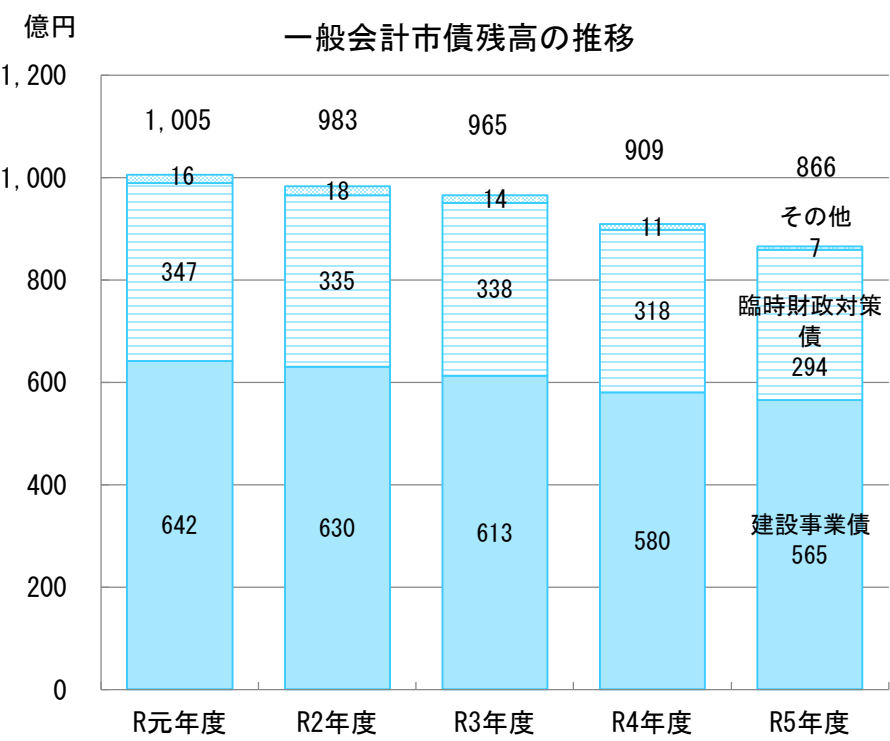


※ 計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合があるほか、5千万円未満の場合は0億円と表しています。

- 扶助費は、全体の約1/3を占めています。対前年度比では、約23億円の増となりました。
- 普通建設事業費は、対前年度比で約16億円の増となりました。

5 市債残高及び積立基金の状況

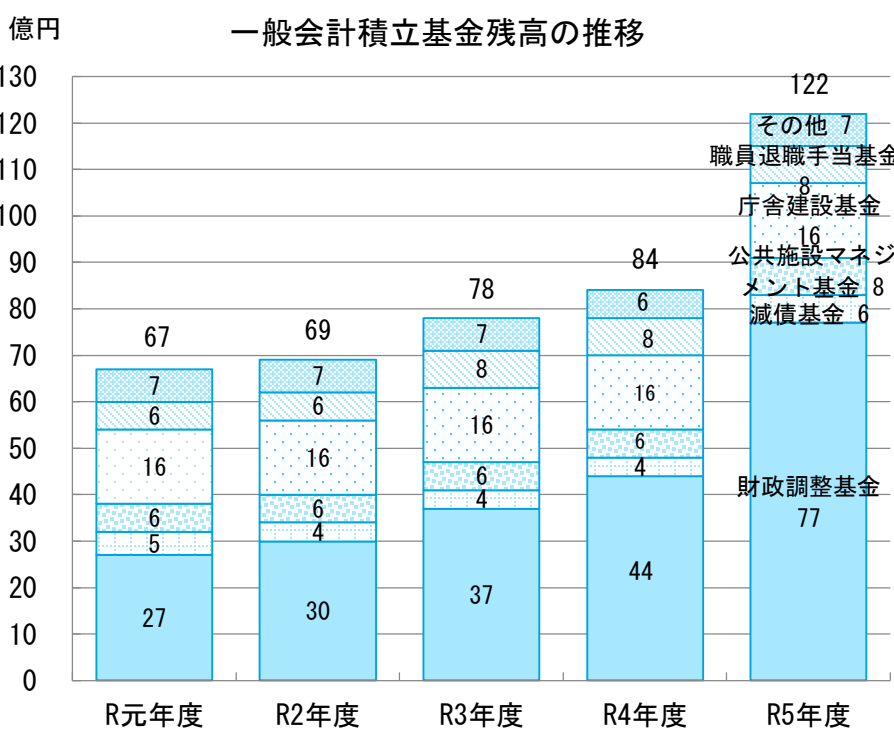
市債残高の状況



※その他・・・減収補てん債及び減税補てん債

- 市債残高は、前年度末より約43億円の減となりました。

積立基金の状況



- 令和5年度末の一般会計積立基金残高は、前年度末より約38億円の増となりました。

6 新型コロナウイルス感染症や物価高騰への取組

感染症対策や物価高騰対策に取り組むつつ、市民生活・地域経済への支援やICT化の推進等を図りました。

新型コロナウイルス感染症への取組

医療提供等の支援

決算額：150,103千円

委託医療機関が行う保険適用のPCR検査や感染症入院医療費に係る患者負担費用の公費負担などを行いました。



感染拡大防止対策

決算額：1,299,105千円

新型コロナウイルスワクチン接種の実施や高齢者施設等における集中的検査のための抗原定性検査キットの配布などを行いました。



地域経済への支援

決算額：752,602千円

プレミアム付電子商品券を発行したほか、高齢者施設や運送事業者等に運営等の継続支援などを行いました。



市民生活への支援

決算額：1,605,199千円

感染症や物価高騰の影響を受けた家計を支援するため、低所得世帯等に各種給付金の給付などを行いました。



ICT化の推進

決算額：103,429千円

証明書等のコンビニ交付を推進したほか、図書館における電子書籍等購入や貸出用資料ICタグ貼付などを行いました。

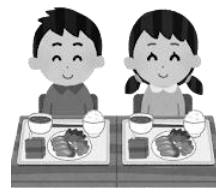


物価高騰への取組

生活者支援

決算額：3,045,261千円

低所得世帯等を支援する各種給付金の給付や給食食材費等高騰対策を行いました。



事業者支援

決算額：118,965千円

高齢者施設等に運営の継続支援を行いました。



7-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して子育てができる環境づくりに向けた施策を推進しました。
- 福祉・保健・医療分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

古谷保育園更新整備

「川越市公立保育所のあり方」の考え方に基づき、老朽化している古谷保育園と古谷第二保育園の一体的な整備を推進するため、用地取得や各種調査を行いました。

(担当部署: こども未来部 こども政策課)

決算額: 40,921千円



子どもの居場所づくり推進事業

こども食堂など、こどもの居場所づくりを実施している団体の安定した運営に繋がり、貧困の連鎖を断ち切る一助となるため、各種団体への支援や利用者への情報提供を行っている川越市社会福祉協議会に補助金を支給しました。

決算額: 1,130千円



(担当部署: こども未来部 こども家庭課)

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

国保データベースシステムを活用し、地域の健康課題の分析・対象者の把握を行い、重症化予防など高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)等を行うことにより、健康寿命の延伸、高齢者の身体的・精神的・社会的生活の質の向上を図りました。

決算額: 6,878千円



(担当部署: 保健医療部 高齢・障害医療課)

7-2 主な事業の成果【教育・文化・スポーツ、環境】

- 教育分野では、教育環境の改善やスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保していくための取組などを推進しました。
- 環境分野では、温室効果ガスの排出量削減のための取組などを推進しました。

小・中学校体育館空調設備等整備

児童生徒の体調管理や熱中症対策、また災害時の避難所の環境改善を図るため、市立小中学校の体育館における空調設備等の整備に着手しました（第1期事業計18校）。
※令和6年度までの継続費を設定。

決算額：271,372千円



（担当部署：教育総務部 教育財務課）

中学校部活動指導員配置事業

川越市立中学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るため、「川越市部活動地域連携・地域移行推進基金」を設置するとともに、6校に対して8名を配置しました。
※配置部活は7つ

決算額：940千円



（担当部署：学校教育部 教育指導課）

省エネ家電買換え促進事業

家庭における電力消費を抑制し温室効果ガス排出量を削減するため、省エネ基準達成率100%以上のエアコン又は冷蔵庫の買換えに対する補助を行いました。

決算額：22,991千円



（担当部署：環境部 環境政策課）

7-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤、地域社会・市民生活】

- 都市基盤・生活基盤分野では、歴史的資源を活用した拠点施設整備や、南古谷駅周辺地区における都市基盤の整備などを推進しました。
- 地域におけるコミュニティ活動を支援するための基盤づくりを推進しました。

南古谷駅周辺地区整備

JR川越線南古谷駅の自由通路設置及び橋上化等に関する実施設計に着手するとともに、南古谷伊佐沼線整備に向けた用地取得などを行いました。

(担当部署: 都市計画部 都市整備課)

決算額: 280,703千円



外観イメージパース(南口)

旧川越織物市場整備

旧川越織物市場等を、クリエイターの創業や新たなビジネスの創出を支援する文化創造インキュベーション施設として令和6年度から活用するため、旧栄養食配給所等整備工事及び旧川越織物市場外構その他工事を行いました。

決算額: 210,290千円



整備完了後の
旧川越織物市場東棟・西棟

(担当部署: 都市計画部 都市景観課)

地域コミュニティ活動拠点の整備

仮称霞ヶ関北市民センターの整備に向け、市民センターと公民館を一体で整備する実施設計等を行いました。

仮称芳野市民センターの整備に向け、用地測量の実施と設計業務(令和6年度まで)に着手しました。

決算額: 40,632千円



現在の芳野市民センター

(担当部署: 市民部 地域づくり推進課、教育総務部 地域教育支援課)

7-4 主な事業の成果【産業・観光】

- 産業・観光分野では、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響で落ち込んだ地域経済の回復や地域の魅力を発信する取組のほか、グリーンツーリズム拠点施設にキャンプスペースを整備するため、用地取得等を行いました。

川越まつり会館展示設備等の改修

川越まつり会館の展示設備について既存の展示物を活かしながら、デジタル技術を積極的に活用するとともに、多言語化などインバウンド対応を図り、川越まつりの魅力を更に発信できる施設整備を行いました。

また、老朽化が進む空調設備について、展示エリア系統等の改修に着手しました。
※空調設備の改修について、令和6年度へ繰越明許費を設定

(担当部署：産業観光部 観光課)

決算額：112,340千円



まつり会館外観と山車展示ホール

運送事業者事業継続支援金

燃料価格等の高騰が続いている中、経費の増大を価格転嫁することが困難で、厳しい経営環境下にある運送事業者を支援するため支援金を交付しました。

(担当部署：産業観光部 産業振興課)

決算額58,648千円



グリーンツーリズム整備推進

グリーンツーリズム拠点施設について、観光の広域化と滞在時間の延長を図るため、キャンプスペースの整備に向けた用地取得や設計業務を行いました。

また、体験、食事、宿泊を柱として、新たな体験の実施や来訪者への情報発信に向けた取組を推進しました。

(担当部署：産業観光部 農政課)

決算額：227,286千円



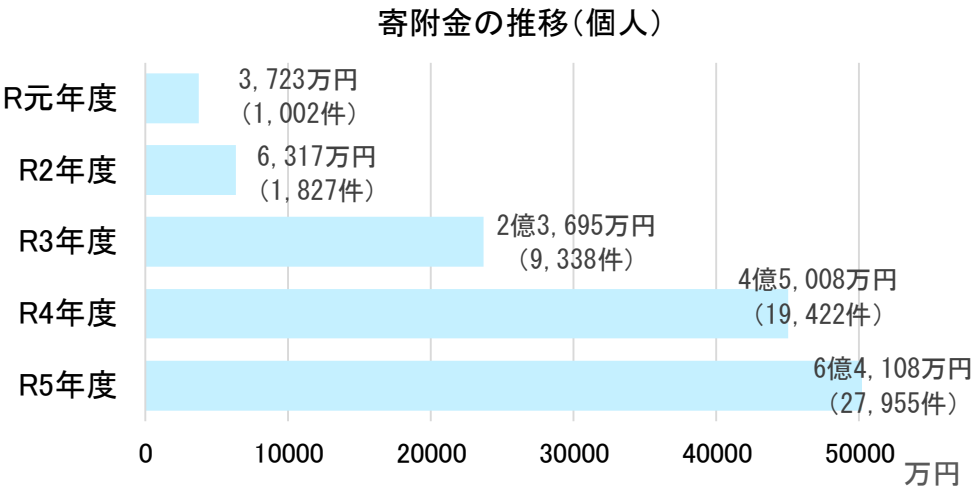
グリーンツーリズム拠点施設



(参考)ふるさと納税の状況

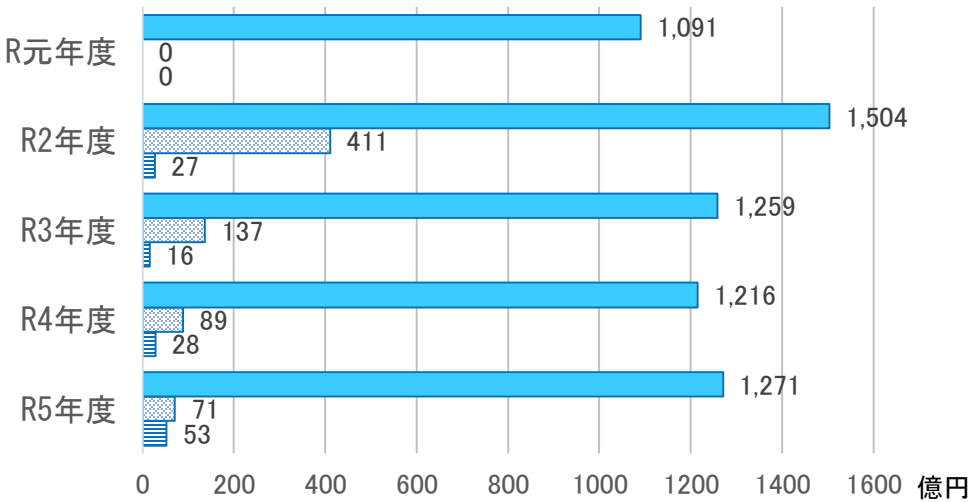
令和5年9月26日から、川越市を訪れた(訪れたい)方がスマートフォンで手軽にふるさと納税することができ、返礼品として加盟店で使える電子クーポンを即座に受け取れるデジタルサービス・旅先納税「小江戸かわごえe旅ギフト」を首都圏で初めて導入しました。

令和5年度は、楽器のふるさと納税を含め、27,955件、6億4,108万円のご寄附をいただきました。



(参考)新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連経費の状況

令和5年度は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等新設されたものの、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策関連経費は、令和2年度の約411億円から年々減少しており、令和5年度は約71億円でした。



【グラフ凡例】

- 歳出総額…①
- ①のうち新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策関連経費…②
- ②のうち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が財源である経費